

Q40	評価の妥当性及び信頼性が高められるよう創意工夫を行い、組織的、計画的な取組を推進し、次年度や小学校等にその内容が適切に引き継がれるようにしている。	2	13	5	2
-----	---	---	----	---	---

3 特別な配慮を必要とする園児への指導

(1) 障害のある園児などへの指導

Q41	障害のある園児などへの指導に当たっては、集団の中で生活することを通して全体的発達を促していくことに配慮し、適切な環境の下で、他の園児との生活を通して共に成長できるよう、個々の園児の障害の状態などに応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行っている。	4	12	5	1
-----	---	---	----	---	---

Q42	また、家庭、地域及び医療や福祉、保健等の業務を行う関係機関との連携を図り、長期的な視点で障害のある園児への教育及び保育的支援を行うために、個別の教育及び保育支援計画を作成し活用すること、個々の園児の実態を的確に把握し、個別の指導計画を作成し活用することに努めている。	1	11	9	1
-----	---	---	----	---	---

(2) 海外から帰国した園児や生活に必要な日本語の習得に困難のある園児の幼保連携型認定こども園の生活への適応

Q43	海外から帰国した園児や生活に必要な日本語の習得に困難のある園児については、安心して自己を発揮できるよう配慮するなど個々の園児の実態に応じ、指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行っている。	0	14	6	2
-----	---	---	----	---	---

第3 幼保連携型認定こども園として特に配慮すべき事項

Q44	入園した年齢により集団生活の経験年数が異なる園児がいることに配慮する等、0歳から小学校就学前までの一貫した教育及び保育を園児の発達や学びの連続性を考慮して展開している。	5	14	3	0
-----	--	---	----	---	---

Q45	0歳から小学校就学前までの様々な年齢の園児の発達の特性を踏まえ、満3歳未満の園児については、特に健康、安全や発達の確保を十分に図っている。	7	14	1	0
-----	---	---	----	---	---

Q46	同様に満3歳以上の園児については、同一学年の園児で編制される学級による集団活動の中で、遊びを中心とする園児の主体的な活動を通して発達や学びを促す経験が得られるよう工夫している。	3	18	1	0
-----	--	---	----	---	---

Q47	満3歳未満の園児については睡眠時間等の個人差に配慮するとともに、満3歳以上の園児については集中して遊ぶ場と家庭的な雰囲気の中でくつろぐ場との適切な調和等の工夫をしている。	7	14	1	0
-----	---	---	----	---	---

Q48	満3歳未満の園児については、大人への依存度が極めて高い等の特性があることから、個別的な対応を図り、また、園児の集団生活への円滑な接続について、家庭等との連携及び協力を図る等十分留意している。	6	13	3	0
-----	---	---	----	---	---

Q49	園児の発達の連続性を考慮した教育及び保育を展開する際には、満3歳未満の園児については、園児一人一人の成育歴、心身の発達、活動の実態等に即して、個別的な計画を作成し、満3歳以上の園児については、個の成長と、園児相互の関係や協働的な活動が促されるよう考慮している。	6	13	2	1
-----	--	---	----	---	---

Q50	「生命の保持」について知っている。	8	10	3	1
-----	-------------------	---	----	---	---

Q51	「情緒の安定」について知っている。	8	10	3	1
-----	-------------------	---	----	---	---

Q52	認定こども園は主幹保育教諭を中心とした「子育ての支援」が必須であることを知っている。	9	12	1	0
-----	--	---	----	---	---

小 計		238	633	153	10
-----	--	-----	-----	-----	----

第2章 ねらい及び内容並びに配慮事項(28項目)

Q53	第2章に示すねらいは認定こども園の教育及び保育において「育みたい資質・能力を園児の生活する姿から捉えたもの」、内容は「ねらいを達成するために指導する事項」、内容の取扱いは「園児の発達を踏まえた指導を行うに当たって留意すべき事項」であることを知っている。	3	17	2	0
-----	--	---	----	---	---

Q54	各視点や領域は、この時期の発達の特徴を踏まえ、教育及び保育のねらい及び内容を乳幼児の発達の側面から、乳児は「三つの視点」として、幼児は「五つの領域」としてまとめ、示したものであることを知っている。	3	15	4	0
-----	--	---	----	---	---

Q55	各視点や領域に示すねらいは、園における生活の全体を通じ「園児が様々な体験を積み重ねる中で相互に関連を持ちながら次第に達成に向かうもの」、内容は「園児が環境に関わって展開する具体的な活動を通して総合的に指導されるもの」であることを知っている。	2	14	6	0
-----	--	---	----	---	---

第1 乳児期の園児の保育に関するねらい及び内容

基本的事項

Q56	基本的事項としての乳児期の発達について知っている。	6	11	6	0
-----	---------------------------	---	----	---	---

Q57	乳児期の領域「三つの視点」について知っている。	6	7	8	1
-----	-------------------------	---	---	---	---

Q58	「健やかに伸び伸びと育つ」の意味、ねらい、内容、内容の取扱いについて知っている。	3	10	9	0
-----	--	---	----	---	---

Q59	「身近な人と気持ちが通じ合う」の意味、ねらい、内容、内容の取扱いについて知っている。	4	10	7	1
-----	--	---	----	---	---

Q60	「身近なものと同わり感性が育つ」の意味、ねらい、内容、内容の取扱いについて知っている。	3	11	7	1
-----	---	---	----	---	---

第2 満1歳以上満3歳未満の園児の保育に関するねらい及び内容

基本的事項

Q61	基本的事項としての満1歳以上満3歳未満の園児の発達の内容について知っている。	6	12	3	1
-----	--	---	----	---	---

Q62	満1歳以上満3歳未満の「5領域」について知っている。	7	11	3	1
-----	----------------------------	---	----	---	---

Q63	満1歳以上満3歳未満の「健康」の意味、ねらい、内容、内容の取扱いについて知っている。	3	12	7	0
-----	--	---	----	---	---

Q64	満1歳以上満3歳未満の「人間関係」の意味、ねらい、内容、内容の取扱いについて知っている。	4	11	7	0
-----	--	---	----	---	---

Q65	満1歳以上満3歳未満の「環境」の意味、ねらい、内容、内容の取扱いについて知っている。	4	11	7	0
-----	--	---	----	---	---

Q66	満1歳以上満3歳未満の「言葉」の意味、ねらい、内容、内容の取扱いについて知っている。	4	11	7	0
-----	--	---	----	---	---

Q67	満1歳以上満3歳未満の「表現」の意味、ねらい、内容、内容の取扱いについて知っている。	4	11	7	0
-----	--	---	----	---	---

第3 満3歳以上の園児の教育及び保育に関するねらい及び内容

基本的事項

Q68	基本的事項としての満3歳以上の園児の発達の内容と「5領域」について知っている。	8	9	4	1
-----	---	---	---	---	---

Q69	満3歳以上の「健康」の意味、ねらい、内容、内容の取扱いについて知っている。	3	10	9	0
-----	---------------------------------------	---	----	---	---

Q70	満3歳以上の「人間関係」の意味、ねらい、内容、内容の取扱いについて知っている。	3	10	9	0
-----	---	---	----	---	---

Q71	満3歳以上の「環境」の意味、ねらい、内容、内容の取扱いについて知っている。	3	10	9	0
-----	---------------------------------------	---	----	---	---